

国指定史跡

ふくい いせき
福市遺跡



【米子市埋蔵文化財センター】

市内遺跡出土の遺物を展示・収蔵しています。

- 入館料 無料
- 開館時間 9:30～17:00
※ただし入館は16:30まで
- 休館日 土日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

〒683-0011 米子市福市 281
TEL・FAX 0859-26-0455
<https://yonagobunka.net/maibun/>

【米子市福市考古資料館】

福市遺跡から出土した遺物等を展示しています。

- 入館料 無料
- 開館時間 9:30～17:00
※ただし入館は16:30まで
- 休館日 毎週火曜(祝日の場合翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)

〒683-0011 米子市福市 461-20
TEL・FAX 0859-26-3784
<https://yonagobunka.net/kouko/>



交通アクセス ●[JR]「米子駅」から路線バス、溝口・日野方面(八郷線、二部線、根雨線、賀野・岩屋谷線(御内谷行きを除く))行きに乗車「安養寺入口」下車 徒歩すぐ

- [車]「米子駅」から【約15分】
「山陰道米子南IC」から【約5分】



問い合わせ 米子市文化振興課

〒683-8686
鳥取県米子市東町161番地2
TEL 0859-23-5438
FAX 0859-23-5414
E-mail: bunka@city.yonagoi.jp



米子平野を見渡す丘陵上の集落

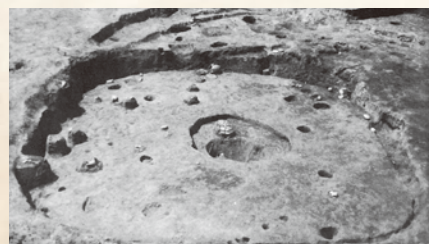
福市遺跡は、日野川と法勝寺川に挟まれた福市丘陵一帯に広がる弥生時代から古墳時代を中心に営まれた集落遺跡です。その範囲は、東西500m、南北400mに及び、山市場、御所原、南御所原、四ツ塚谷、日焼山、吉塚、青木向の7地区にわたって広がっています。このうち大規模な発掘調査が行われた吉塚地区では、多数の竪穴住居跡が発見され、何世代にもわたって人々が住み続けていたことが分かりました。また、隣接する日焼山地区では、吉塚地区の集落に住んでいた人々が埋葬されたと考えられる墓域が確認されています。昭和41年(1966)以降実施された発掘調査によって、集落の全容が明らかになった貴重な遺跡として全国的な注目を集め、昭和49年(1974)に吉塚地区と日焼山地区を合わせた39,414㎡が国史跡に指定されました。その後、史跡公園として整備が進められ、現在では市民の憩いの場として多くの人々に親しまれています。



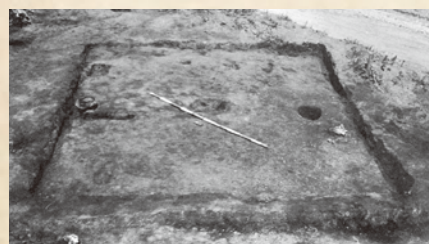
ツツジの咲き誇る福市遺跡公園



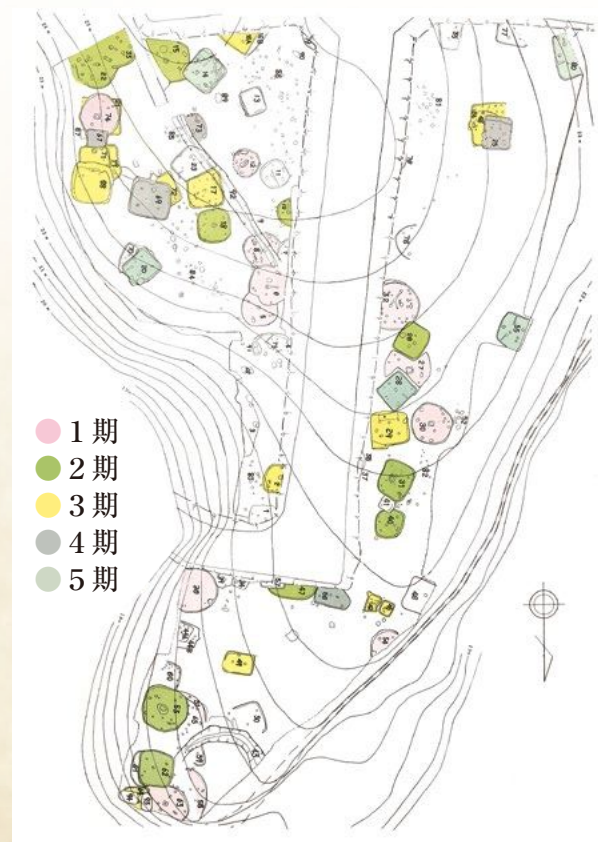
円形の竪穴住居跡



隅丸方形の竪穴住居跡



方形の竪穴住居跡



集落の変遷図

丘陵に造営された集落の墓域

日焼山地区では、吉塚地区で生活していた人々が葬られたと考えられる古墳時代前期の墓が発見されています。墓は土壙墓と呼ばれる深さ2mほどの素掘りの穴で、これまでに24基が確認されていますが、未調査部を含めると倍以上の数が存在すると考えられます。また、丘陵の斜面からは古墳時代後期の横穴墓が1基見つかりました。

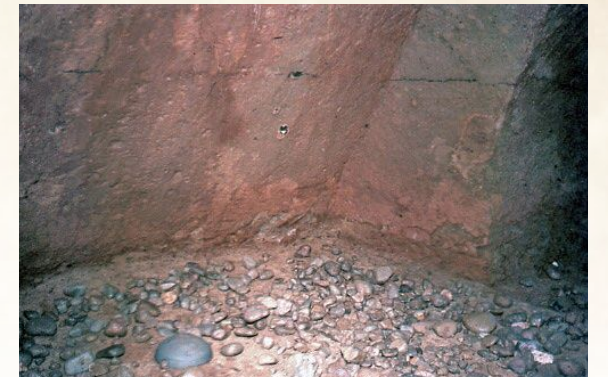
日焼山地区の中央には径12m高さ1.2mの円墳(日焼山1号墳)が存在しており、庶民が埋葬された土壙墓に対して、この円墳には吉塚地区の集落を率いた人物が葬られたようです。



日焼山第1土壙墓



日焼山1号墳の埋葬施設



日焼山1号横穴墓の内部



上空から見た福市遺跡

米子市撮影

動物などをかたどった土製品

集落内からは、皮袋や鶏をかたどった小型の土製品が出土しました。これらは、祭りの時に使用されたものと思われます。



皮袋形と鶏の土製品

土製支脚

高さが15cm程度の土器で、円柱の胴部に2本の支えが取り付けられています。これらは2~3個を組み合わせて、下図のように煮沸用の土器の支えとして使用されていたようです。福市遺跡では、取っ手をつけたものが出土しています。



土製支脚

土製支脚の使用例

集落の移り変わり

吉塚地区では、標高25mほどの平坦な丘陵上で、80棟の竪穴住居跡が発見されました。

弥生時代後期(3世紀)から古墳時代前期(4世紀)を中心に、古墳時代後期(6世紀)までの約400年の間に営まれた集落で、数世代にわたって狭い範囲に重複して竪穴住居が建てられました。

竪穴住居の形は、円形から隅丸方形へ、そして方形へと時代によって変化しており、造営された時期がおおまかに5期に区分されます。●1期は弥生時代後期後半で13棟、●2期は古墳時代前期前半で12棟、●3期は古墳時代前期後半で13棟、●4期は古墳時代中期で4棟、●5期は古墳時代後期で5棟が確認されています。一時期に、10数棟で構成されており、このような集落が当時の集落の一般的な規模であったと考えられています。